狙い	課題解決に向けた調査、分析
	│ 優先的に対処すべき課題の見極め │
組織·構成員	IR委員会(学長含む教員7人、職員9人うち専任1人)
主な業務	▶課題の設定 ▶プロジェクトチームの
	組織(部署、スタッフのアサイン)
データの収集法	▶各部署から必要なデータを収集
	▶学生調査等のデータを活用
データの公開法	▶FD·SD活動での公開
	▶アニュアルレポートを作成し、学内に共有
活用例	▶GPA分析によるカリキュラム・ポリシーの検証
	▶入学前教育プログラムの効果検証

に変化が見られます。 が公立化した影響から、

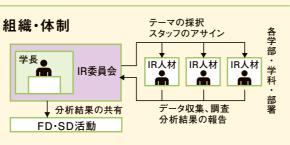
県内の複数の私立大学

#### 松本大学

学生数/1707人 效員数/94人 職員数/46人 学部/総合経営学部、人間健康学 部、教育学部 キャンパス/松本大学と松商短期

大学部で1キャンパス ※2019年5月1日現在のデータ 教員数は大学院兼務を含む





## 改善点を明らかにすることも

# 教学改善に生かしていく

Rを担当する組織は?

明らかにすべき課題の設定とメン 取っています。 を何人も抱えることはできませ バーのアサインを行っています。 ん。そこで課題ごとに教職協働で 入学者の変化に関する分析で 中心となるのはIR委員会で いることは? 本学の規模では専任スタッフ これから取り組もうと考え ムを組むプロジェクト方式を IR委員会では、

増えてきているのです。こうした ればなりません。学生の入学前の る教育システムを整えていかなけ い学生を意欲的に勉強に向かわせ 入試の学力は上がっていますが 第3志望で入学する学生が 入学後の振る舞いを明ら 志望度の高くな 以前よりは 入学者層 と改善に向けた取りで、IRの分析結果 移や授業外学修時間 組みを積極的に公開 持ってもらうために、 いきません。 しています。 FD・SD活動の中 職員に問題意識を そこで、 多くの教 成績推

きかを見極めたいと考えていま 学としてどこまで労力をかけるべ 加の効果はゼロではないと思いま も分析したいと考えています。 した学生とそうでない学生の違い かにしたいと考えています。 就職状況が好調な中で、 インターンシップに参加 参

今後に向けた課題を教えて

自分の担当業務にプラスしてI 問題意識を持つ人が これでは まだ改善

注目のドラ

#### 大学に対する学生満足度 86%

「学生の意欲を高め、専門性を身に付 けさせて、地域に送り出すのが役目」だと する松本大学。全学生に「この大学で 学んでよかった」と感じて卒業してもらい たいと言う。現在の卒業時の学生満足 度76%を86%にまで引き上げることを目 標とする。IRを教学改善、学生支援向 上に生かし、数値を高めたい考えだ。

入学者層の変化を分析し 果が出ていることが確認できまし でなく、進行中の取り組みを分析 た。このように、課題の検証だけ るのが目的でしたが、きちんと成 IRの役割だと考えています。

## 全学展開へ - Rを ^自分ごと化 、し

ください

こともあり、 クトごとにスタッフを募っている の余地があります。今はプロジェ ているかという点では、 一部に限られています。 IRが組織的な取り組みになっ

と考えています。

増えると期待しています されるでしょうし、自分ごととし 動の成果などをまとめた学生版ア てIRに関わろうとする教職員が かになることで、 ニュアルレポートの配布も始めま 新聞で取り した。デ - 夕によって課題が明ら 上げられた地域連携活 問題意識も醸成

のか? えたうえで、限られたリソースの ること」。このコンセプトをふま 域に貢献できるような人材へ育て できません。本学のコンセプトは 模大学が一度に全てを行うことは す。とはいえ、本学のような小規 や社会から改革を求められていま 「地元の学生を地域で教育し、 **人材育成などさまざまな面で、** Rを最大限に活用していきた 今、大学は教育、研究、地域貢献、 最優先すべき重要課題は何な それを見極めるために、

#### Rでまわす! PDCAサイクル

第6回

#### 松本大学

### 今 見極めるための 取り 組むべき優先課題を R

立て、

学科ごとにGPA分布の年

いくのではないか」という仮説を る。その結果、GPAが上がって

とがおもしろくなり、

勉強し始

設計が適切ならば、学生は学ぶこ

す。そこで、

「もしカリキュラ

次推移を調べました。

調査後、

予想どおりの結果が出

## 課題を解決するために Rに取り組む

教えてください 貴学のIRの特徴について

C

で、調査する必要があるでしょう。 「分析のスペシャリストがデー 課題を設定し、仮説を立てたうえ 「何を明らかにするのか」という チです。リサーチであるからには 欠で、そこからスタートしないと Rは機能しない」と考えていま 私は「IRには問題意識が不可 そもそもIRの、R、はリサ

かけは?

から、

CPの見直しをお願い

しました。

「学生に覇気が見られな カリキュラムを見直したほ

です。この結果を学科長に伝えて

GPAの低い学生が増えていたの

学科では、学年が上がるにつれて

て驚きました。私が疑問を持っ

た

教員の理解は得られなかったで うがよい」とだけ伝えたのでは、

データを示して説明した

私は、ある学科は比較的早く、 意図しているとおりに学生が成長 か」をきちんと調べなければなら リシー(CP)が機能しているの 感じました。そこで「われわれが て、学修意欲を失っているように しているか」「カリキュラム・ポ 本学がIRに取り ある学科の学生の様子を見 2 年ごろ。

たのだと思います。

ことで、速やかな改善につなが

果が出てくる」というわけではな をいじっていれば、意味のある結 いはずです。

Rに取り組み始めたきっ

組み始めたの

プログラムが初年度退学率に与え

2012年度には、入学前教育

人学前教育の費用対効果を確認す る影響を調査しました。これは、

を測れません。学修行動の変化に

れだけではCPが機能しているか

対する検証が不足しているからで

学長·IR委員長

吉

すみよしひろゆき●1980年九州大学大学院理学研究科物 理学博士課程修了。1982年東京大学原子核研究所研究員。 1986年松商学園短期大学商学科専任講師、1996年経営情 報学科学科長。2004年松本大学副学長、2012年より現職。

取材·文/本間学 撮影/荒川潤

当時は「授業に対す

ないと考えたのです。

では、どうすればそれを検証で

指標を用いて教育の自己点検・

る学生満足度」や「就職率」等

きるのか?

価を行っていました。

しかし、

そ



**やまもと・まさはる●**1943年生まれ。1968年新潟大学医学部卒業。1969年ボストン大学医 学部疫学研究員。1980年テキサス大学大学院School of Public Health修士課程修了。 1983年新潟大学医学部衛生学教授。医学部長、医歯学系長等を歴任し、2009年定年退職。 2009年新潟医療福祉大学副学長。2010年より現職。専門は公衆衛生学、産業医学。

勢の中で勉強するのが苦手な人も にしたのですが、学生の中には大

環境改善に関する取り組みで

います。そこで講義棟も追加して

家試験の勉強をする学生のため

例えば、職員からの提案で、

に、正月も図書館を開放すること

学生に何ができるかを考えていま 員はこの目標を基に、常に自分は では行動目標にしています。教職 る」のが「面倒見の良い大学」で 必要なときに必要なだけ受けられ 生に対しても「必要なサービスを ように、在学中はもちろん、卒業

あると定義しました。

これを本学

## 社会的評価を高める 常に改善する姿勢こそ

発想だと言えます。

普段から学生を観察して彼らに何 開放するようにしました。これは、

が必要かを考えているからこその

実現できるものではないため、 QOLを高めることは欠かせませ で質向上をめざす組織風土の醸成 改革を推進するには、全ての面 改革の主体である教職員の これらは一朝 一夕に

定め、英語の頭文字をとっての5つを、優れた、の要件として げていくことが重要です。 環境改善の努力を徹底的に積み上 かな業務効率化の工夫や、小さな

2001年に開学しました。初め の人材を育成する大学として、

員受験・全員合格や多職種間連携

性を決める時期。

**(める時期。設立当時の中長ちょうど次の10年間の方向** 

合指標として定め、

国家試験の全

の10年間は、三大使命として「対

保健、医療、

福祉、

スポーツ分野

をめざし、

就職率を教育成果の総

することができました。 科・収容定員2800

私が学長に就任した20

教育面では「面倒見の良い大学」 る大学」を掲げていました。 応える大学」「国際社会に貢献す する大学」「地域社会のニーズに 象者のQOLを支える人材を育成

特に

2 0 1

1年度には4学部10学

人まで拡大

容定員1040人の規模だったの

開学当初は2学部5学科・収

成に力を入れてきました。その結

ーの育成」を基本理念に掲げ、 本学は、「優れたQOLサポ 全教職員で、自分ごと化、

S T E P

Sとしました。

これらを学生が身に付けられる

といった工夫を重ねています。 委員会を開催するようにするなど 選出の委員は兼任とし、連続して を運営できています。 を提案し、今ではその半数で大学 めなくてもよいだろうと、見直し 私はそこまで厳密な管理運営を求 会活動の見直しが挙げられます 務時間内での会議開催や時間の半 して制度設計していたためです 本学には、70もの委員会がありま した。企画部門と実施部門を独立 業務効率化の例としては、 内容が類似する委員会の学科 加えて、 委員

経験から、 えで、とても効果があるからです。 学の教育に対する姿勢を伝えるう 学生や保護者、 なぜなら、こうした改善努力は、 内容からトイレの清潔さに至るま ます。教職員には、 業医として職場巡視を行ってきた を実施しています。 は、学内を歩いて回る、学長回診 る習慣です。現場を細かく見て回 大学業務のあらゆる面で質を さまざまな気づきが得られ 学長就任以来続けてい 改善を求めています。 地域の方々に、 これは私が産 学食での食事

> 道な管理運営の実務者〟としての 社会からの評価を高めるには、´・地 と私は考えています。 学長には強く求められる

#### グロー 教育・研究の両面から バル人材育成 ^

考える時期を迎えています。 本学は6学部13学科・収容定員 した。そして、まさに次の10年を 000人超の大学へと成長しま 創立20周年を間近に控える今、

見つける」ことが、学生にとって 学では何ができるか 重要になります。 は、「世界の中で自分の生き方を の一つがグローバル化です。 10年先を考える際のキーワー バル化が進む現代において そのために、 教育で グ

> 進していきます。 に取り組む多職種間連携教育を推 援」など、グローバル社会で起こ り得る問題に、海外の連携校と共 もを持つ在日外国人の母親への支 は、例えば「聴覚障害のある子ど

新潟の地に世界から知と研究者が の科研費新規採択件数(20 健康科学およびその関連分野 ビリテーション科学を含む)」 研究では、「スポーツ科学、 で全国5位となっている強 特色ある研究を生かして、

を進めていきます 集まるアジアーの研究拠点づくり ることで、 これを教職員が は議論のたたき台を提示します。 長期計画の策定に当たり、 『自分ごと化》 学長

られていくはずです さらによいものへ高め 荒波に挑むトップ

# 新潟医療福祉大学·学長

策定することにしました。



までは示されていませんでした。

標として、

いつまでに達成するか

の11年間を見通した長期計画と、

そこで私は、

2020年度まで

4年単位の中期目標・中期計画を

取材・文/仲谷宏 撮影/荒川潤

ジアー」「学生数5000名」

スポーツ分野の大学で日本一、

掲げていましたが、何を客観的指

期目標では、「保健・医療・福祉

本 E

「連携教育」に力を入れる

新潟医療福祉大学●保健・医療・福祉・スポーツに 関する指導的人材の養成をめざす大学として 2001年に開学▶6学部13学科1研究科、学生数 約4000人 ▶基本理念は「優れたQOLサポーター の育成」▶他学科の学生と1つのチームで学ぶ

教職員参加のもと、

2年ごとに中

中期目標・

中期計画については全

づくためのナビ的な役割を果たす

えからです。 するもの~

また、長期目標に近

目標を〝めざすもの〞から〝実現 で方策を話し合いました。これは、

へと変えたいという考

る意識改革を期待して、全教職員

目標を「自分ごと化り

をお互いに確認しています 間点検を行って、計画の進捗状況 QOLサポー

〜組織風土改革により質向上への姿勢を醸成し理念を具現化

医療・福祉系大学ナン

長

期計画を〃自分ご

ごと化り ても、 題を解決する力」「自己実現意欲」 味か、「面倒見の良い、とはどう シップ」「対象者を支援する力」「問 する力」「チームワークとリ 行い、「科学的知識と技術を活 て、教職員全員で共有し、 いうことかなど、要件を具体化し 一方で基本理念の「優れ 、優れた、とはどう することが課題でした。 中期目標と併せて検討を -の育成」 いう意 につ 自分

#### 目標への到達度

新潟の地で個性輝く 「2030Agenda\*3」(SDGs) 適合大学へ

グローバル展開 グローバル社会における多職種間連携教育の推進など 第三期将来計画 (2021~2030年度) 策定(予定)

質保証のための「STEPS」の策定 第二期将来計画 長期目標(2010〜2020年度)および 中期目標・計画(2010~2013年度)策定

ローカル展開 資格取得や学士力の育成重視 第一期将来計画

「新潟医療福祉大学の三大使命」策定 2001 新潟医療福祉大学開学 建学の精神:優れたQOLサポーターの育成

6合目

\*3 2015年9月、国連で採択された「我々の世界を変革する:持続可能な開発(SDGs)のための2030Agenda

35 Between 2019 9-10 Between 2019 9-10 34